

科目名	子ども家庭支援の心理学		担当教員	真鍋 顕久	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	
期待される学修成果					
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク				
実務経験	相談援助職				
実務経験を生かした授業内容	施設での相談援助業務の経験を生かし、ソーシャルワークについて講義する。				
到達目標及びテーマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を獲得し、子ども時代の経験の重要性や発達課題等を理解する。 2. 家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子ども家庭支援の視点を習得する。 3. 子育て家庭に関する現代社会的状況と課題について理解する。 4. 子どもの心への支援について理解する。 				
授業の概要	子どもの成長・発達において重要な環境となる「家族・家庭」のあり方は、現代社会において多様化している。それとともに子育てのあり方にも変化をもたらしている。本授業では、子どもの育ちに関する発達心理学的視点や家族・家庭に関する社会学的視点を習得し、現代社会の子育て家庭を取り巻く課題を理解し、支援方法のあり方を検討していくことを目的とする。事例について各自が考えを述べたり、グループワークやディスカッションする機会を設ける。				

授業計画	
第1回	親子関係・家族関係における発達の理論と実際
第2回	乳幼児期の子どもの発達と家庭
第3回	児童期の子どもの発達と家庭
第4回	青年期の発達の特徴と課題
第5回	成人期・高齢期の発達の特徴と課題
第6回	家族・家庭の意義と機能
第7回	親子関係・家族関係の理解
第8回	子育て家庭を取り巻く社会的状況と課題
第9回	子育て・仕事とライフコース
第10回	特別な配慮を要する子どもと家庭の理解と支援（保護者の疾病・障がい）
第11回	特別な配慮を要する子どもと家庭の理解と支援（虐待）
第12回	発達支援が必要な子どもと家庭の理解と援助
第13回	子どもの生活環境・成育環境と生活習慣の獲得
第14回	子どもの心の健康問題と子ども家庭支援
第15回	子ども家庭支援をめぐる現代の社会的状況と課題

事前学修		提示された課題に取り組む。
事後学修		教授された内容を整理しておく。
フィードバックの方法	Eメール等で質問を受け、回答し、個別指導を行う。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	60%	授業内容に関するレポート課題を出す
上記以外の試験・平常点評価	40%	授業への積極的な参加姿勢
定期試験	0%	実施しない

補足事項	
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	授業において適宜資料を配布する			